

施策

⑥安全・安心なまちづくり

元気発進！子どもプランの実績・成果

安心して暮らせること、安全に活動できることは、子育てしやすいまちづくりを進める上で欠くことのできない重要な要件です。そこで、地域において住民の見守りによる自主防犯活動を促進するため「生活安全パトロール隊」が全小学校区で結成され、約10,000人ものパトロール隊員が活躍しています。

また、子どもの交通事故防止のため、通学路での「文」マークの路面標示や、交通安全に関する啓発活動を進めました。

公園は市民にとって身近な憩いの場であり、子ども等が安全で安心して遊び、さまざまな世代の人との交流や多様な体験ができるよう、住民の意見を聞きながら、地域ニーズを踏まえた公園整備に努めました。

道路環境においては、歩道の新設や拡幅、段差解消などのハード面のバリアフリー化を行い、子育て家庭をはじめ、誰もが安全で快適に移動できる環境整備に努めました。

市営住宅においては、入居希望者の中で、特に住宅確保が困難と思われる多子世帯や母子・父子世帯に対し、募集戸数を優先的に確保しました。

このように、子育てしやすい安全・安心なまちづくりに向けて、犯罪防止や交通安全の推進、公園、道路、住環境等の整備を図るとともに、誰もがバリアを感じないまちづくりに取り組みました。

現状と課題

(ア) 公園や子育て支援施設など

現状

「子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査」で、より力を入れてほしい子育て支援策を尋ねたところ、就学前児童と小学生の保護者の5割以上が、「公園や子育て支援施設等」を選択しています。また、同様の質問を小学校高学年生(4年生～6年生)に尋ねたところ、その5割が「公園や施設」を選択しており、保護者も子どもも、安全に安心して過ごせ、利用しやすい公園や遊び場に対するニーズが高い状況です。

課題

- 子どもが安全に安心して遊べ、多様な体験や多世代の交流ができる身近な公園や遊び場を整備する必要があります。

(イ) 地域に対する体感治安

現状 「子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査」で、子育てに関して日常悩んでいることを尋ねたところ、就学前児童と小学生の保護者の約1割が「地域の治安」を選択しており、安全に暮らす上での不安を感じています。

課題

- 地域の自主防犯・防災活動などの取り組みを推進することにより、子育て家庭を含め市民の体感治安が向上するなど、安全・安心を実感できるまちづくりに取り組む必要があります。

(ウ) 道路などの都市環境と交通安全

現状 「子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査」で、より力を入れてほしい子育て支援策について尋ねたところ、就学前児童の保護者の3割が「子育て家庭が外出した際に困らない道路などの都市環境」を選択しており、安心して外出できる都市環境の整備に対するニーズがあります。また、平成25年には市内で8,949件の交通事故が発生し、「自転車や車の運転マナーが悪い」などの市民意見もあります。

課題

- 子育て家庭が安心して外出できるバリアフリーのまちづくりを推進する必要があります。
- 交通事故の防止活動を推進する必要があります。

(エ) 住環境

現状 「子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査」で、より力を入れてほしい子育て支援策について尋ねたところ、就学前児童と小学生の保護者の約1割が、「公営住宅への入居支援など住宅面での配慮」を選択しており、住環境の整備に対するニーズがあります。

課題

- 子育て家庭に対して良質な住宅を確保し、子どもを生み育てやすい住環境の整備を進める必要があります。

施策の方向性・柱

『子育て家庭が安全に安心して生活できる、公園、道路、住居等の都市環境づくり』

① 子育て家庭が利用しやすい公園・遊び場の整備

市民に身近な公園を、地域住民の意見を取り入れながら整備するとともに、小さな子どもの利用に配慮するなど、子育て家庭が安全に安心して遊ぶことができ、利用しやすい公園や遊び場を整備します。

② 安全・安心を実感できるまちづくりの推進

「北九州市安全・安心条例」を制定し、安全・安心に関する意識の高揚を図るとともに、地域における自主的な防犯・防災活動への参加を促進します。「地域安全マップづくり」や「安全セミナー」、消防士による救命救急等の体験授業の実施など、特に子どもに配慮した安全・安心の取り組みを推進します。

③ 子育てに優しい都市環境の整備

ゆとりある道路や立体横断施設のエレベーターなど、バリアフリーのまちづくりを推進し、子育て家庭をはじめ、市民が安全に安心して利用できる道路や施設などの都市環境整備を進めます。

④ 子育てしやすい住環境の提供

子育て家庭向けの良質な賃貸住宅の提供や、市営住宅における多子世帯や母子・父子世帯への優先入居など、安全で快適な住宅を確保するとともに、家庭内事故防止のための啓発など、子どもを生み育てやすい住環境づくりを進めます。

⑤ 交通安全の推進

交通事故防止のための安全運動や啓発活動とともに、自転車の安全利用に向けたルール・マナー教育や啓発など、交通事故のない安全・安心なまちづくりを目指します。

成果の指標【目標】

1 子どもの遊び場や公園に対する満足度	【25年度：41.4%▶増加】
2 子どもとの外出時に安心と感じる割合	【25年度：44.1%▶増加】

参考データ

保護者がより力を入れてほしい子育て支援策(抜粋)

区 分	内 容 (割 合)
就学前 児童	・子育て家庭が利用しやすい公園や子育て支援施設等(52.2%) ・子育て家庭が外出した際に困らない、道路などの都市整備(31.9%) ・公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮(12.5%)
小学生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(62.4%) ・公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮(9.2%)
中学・ 高校生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(41.6%) ・公営住宅への入居支援など住宅面での子育て家庭に対する配慮(11.8%)

資料：北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(平成25年度)
注：複数回答

子どもが希望する子育て支援策(抜粋)

区 分	内 容 (割 合)
小学生 (高学年)	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(54.6%) ・安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備(34.1%)
中学・ 高校生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(33.6%) ・安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備(33.0%)

資料：北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査(平成25年度)
注：複数回答

具体的な取り組み

① 子育て家庭が利用しやすい公園・遊び場の整備

No.	事業名 [担当課]	事業概要
88	地域に役立つ公園づくり事業 [建設局・公園建設課]	身近な公園の再整備について、小学校区単位のワークショップで計画段階から地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指します。
89 新規	安全・安心を高める 防犯環境整備モデル事業 [市民文化スポーツ局・安全・安心都市整備課]	防犯の視点を加えた施設整備を市内に拡げていくため、モデル事業を実施します。対象地域の公共施設を中心に犯罪の起こりにくいまちづくりの視点で点検・ワークショップを実施し、その結果を反映させながら、より安全・安心な施設整備を目指します。
90 新規	子どもの安全・成長に配慮した 公園整備事業 [建設局・緑政課]	遊具などの公園施設を活用して、子どもが健やかに成長し、また、犯罪等の被害にあわない安全に配慮した公園となるよう、専門家の意見を聞きながら、整備を進めていきます。
91	新・海辺のマスタープラン推進事業 [港湾空港局・計画課]	平成23年5月に策定した「新・海辺のマスタープラン」の目標(「利用できる海辺を増やす」「親しまれる度合いを高める」)を実現するためのさまざまな取り組みを行います。 【市民が本市の海辺や港について満足している割合】 25年度：33.6% ▶ 32年度：75.0%

No.	事業名 [担当課]	事業概要
再掲 43	子どもの館・子育てふれあい交流プラザの運営 〈子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業〉 [子ども家庭局・子ども家庭政策課]	子どもの豊かな感性や創造力を育み、子育て中の保護者が持つ負担や不安感を解消するための総合的な子育て支援拠点施設として、「子どもの館」や「子育てふれあい交流プラザ」の運営を行います。 【子どもの館年間入場者数】 25年度：789,184人▶増加 【子育てふれあい交流プラザ年間入場者数】 25年度：457,513人▶増加

② 安全・安心を実感できるまちづくりの推進

No.	事業名 [担当課]	事業概要
92 拡充	地域安全マップづくり 〈安全・安心力の向上促進事業〉 [市民文化スポーツ局・安全・安心推進課]	子どもの危機回避能力やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、地域社会への愛着心を育て、地域住民と共に犯罪に強い地域コミュニティを形成することを目的に市内小学校において「地域安全マップづくり」を行います。
93 新規	GIS防犯情報 〈安全・安心力の向上促進事業〉 [市民文化スポーツ局・安全・安心推進課]	警察から提供された情報をGIS（地理情報システム）データ基盤に入力することで、身近な地域の犯罪情報を視覚的に市民に伝えます。
94	モラル・マナーアップの推進 [市民文化スポーツ局・安全・安心都市整備課]	モラル・マナーアップ関連条例に基づき「路上の喫煙」「ごみのポイ捨て」「飼い犬のふんの放置」「落書き」の4つの行為についての罰則適用など、迷惑行為のない快適な生活の確保を図ります。また、迷惑行為防止に取り組む団体に対して、啓発物品の支援を行い、市内全域で市民が自発的な活動ができるよう取り組みを進めます。

No.	事業名 [担当課]	事業概要
95	「スクール救命士」事業の推進 [消防局・救急課]	全市民が応急手当のできる安全・安心なまちとなるよう、小学校、中学校、高校と発育段階に合わせた応急手当の講習を実施します。 【小学校の講習実施率】 25年度：87%▶31年度：100% 【中学校の講習実施率】 25年度：85%▶31年度：100%
96 拡充	生活安全パトロール隊の支援 〈みんなで守る安全・安心な地域づくり推進事業および地域防犯対策事業〉 [市民文化スポーツ局・安全・安心推進課]	地域の自主防犯活動を行う「生活安全パトロール隊」に対し、現在行っている支援に加え、支援物品を充実します。 また、指導員を全区に配置し、防犯活動に関する指導・助言等を行うとともに、腕章、帽子などの支援物品を支給するなど、地域の自主防犯活動を推進します。 【年間パトロール平均参加人数】 25年度：1,436人▶31年度：前年度以上
97	安全セミナーの開催 〈地域防犯対策事業〉 [市民文化スポーツ局・安全・安心推進課]	子どもたちの犯罪被害防止のため、市内の小中学生を対象に「体験型」のセミナーを開催し、子どもの危機回避能力の向上を図ります。
98	ガーディアン・エンジェルスセイフティ・センター運営支援事業 〈地域防犯対策事業〉 [市民文化スポーツ局・安全・安心推進課]	繁華街での防犯パトロール等を全国的に展開しているNPO法人「日本ガーディアン・エンジェルス」の活動を支援することにより、安全・安心なまちづくり等を推進します。
99	明るく安全なまちづくり街灯整備事業 [建設局・道路維持課]	夜間の交通安全の確保を目的に、市民要望を受け、通学路や公共施設の周辺道路などの地域の道路に、街路灯や生活街路灯を整備します。

No.	事業名 [担当課]	事業概要
100	消防“夢”コンサート事業 [消防局・人事課]	市内の小学校（特別支援学校含む）に出向き、防火・防災教育の一環としてコンサートを実施します。消防音楽隊による生演奏やカラーガード隊の統制された演技を通じて、本物の音楽の素晴らしさや多くの仲間と音楽を創造するチームワークの重要性を伝える等「心の教育」を実践します。また、火災をはじめとする災害の注意喚起を行い、幼少期からの「防火・防災意識」の高揚と普及を図ります。 【年間公演回数】 25年度：46回▶現状維持
101	「消防士さんといっしょ」事業 [消防局・予防課]	将来のまちづくりを担う子どもたちが「防火・防災」について学び、家庭・地域生活の中で実践していく力を育むことを目的に、消防職員が小学校に出向き、「消防のしごと（火事をふせぎ、地震などの災害にそなえる）」をテーマにした授業を行います。 【対象校の年間実施率】 25年度：100%▶現状維持
102	児童見守り消防隊 [消防局・警防課]	児童が登下校時等に犯罪に巻き込まれないよう、児童の登下校時の声掛けや業務出向時に通学路のパトロールを実施するなど、関係機関と連携し、安全確保を行います。 【見守りパトロール実施件数】 25年度：4,140件▶前年度以上

No.	事業名 [担当課]	事業概要
103	パパママ救急教室 [消防局・救急課]	少子化・核家族化が進む中、子どもの病気やケガへの対応などに不安を抱える保護者が多いことから、子育ての不安を軽減し、また、かけがえのない小さな命を守るため、新米パパママを対象に、子どもに関する応急手当教室を開催します。
104 拡充	防災・安全教育の推進 [教育委員会・指導第一課] [教育委員会・指導第二課]	児童・生徒が、日常生活の安全確保のために必要な事項を実践的に理解するとともに、自他の生命尊重を基盤として進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できる資質や能力を培うための支援や指導などの取り組みを推進します。 【避難訓練の実施率】 25年度：小学校97.7%▶30年度：小学校100% 中学校35.5%▶中学校100% ※各校の実情に応じた避難訓練を学期に1回以上実施
105	J-DIG (中学生を対象とした災害図上訓練) [危機管理室・危機管理課]	中学生に対して地域で災害が発生したときの危険箇所や避難方法などをシミュレーションするDIG（J-DIG）を実施し、若年層の防災教育の充実・強化を推進するとともに、将来の防災リーダーを育成します。

③ 子育てに優しい都市環境の整備

No.	事業名 [担当課]	事業概要
106	安全で歩行者等にも優しい道路整備 [建設局・道路計画課]	市民生活に密着する生活道路において、地域の要望などを聞きながら、歩道や側溝などの修繕、防護柵の設置等を行い、歩行空間の安全性や快適性、利便性の向上を図ります。

No.	事業名 [担当課]	事業概要
107	バリアフリーのまちづくりの推進 [建設局・道路計画課]	子育て家庭をはじめ、誰もが安心して移動できる都市空間を実現し、社会参加できる環境づくりを推進するため、公共施設を中心とした地域における歩道の段差解消や主要駅周辺地区の主要経路の整備など、バリアフリー化を推進します。 【主要駅周辺地区のバリアフリー化された主要経路の割合】 25年度：88%▶32年度：100%
108 新規	JR安部山公園駅に対する昇降装置整備支援事業 [建築都市局・都市交通政策課]	子どもや妊婦、高齢者等、交通弱者の移動を円滑にするため、JR安部山公園駅にエレベーターを設置するなど、バリアフリー化を図ります。
109 新規	穴生駅バリアフリー化事業 [建築都市局・都市交通政策課]	筑豊電気鉄道の駅のうち市内で唯一、高架となっている穴生駅について、エレベーターを設置し、バリアフリー化を図ります。

④ 子育てしやすい住環境の提供

No.	事業名 [担当課]	事業概要
110	多子世帯向け市営住宅への優先入居 [建築都市局・住宅管理課]	多子世帯の居住の安定確保を図るため、市営住宅の定期募集において、多子世帯に対して一般申込枠とは別に申込枠を確保し募集を行います。
再掲 257	母子・父子世帯向け市営住宅への優先入居 [建築都市局・住宅管理課]	母子・父子世帯の居住の安定確保を図るため、市営住宅の定期募集において、母子・父子世帯に対して一般申込枠とは別に申込枠を確保し募集を行います。

No.	事業名 [担当課]	事業概要
再掲 71	家庭内事故防止のためのPR [子ども家庭局・子ども家庭政策課]	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、子育てふれあい交流プラザ内に、日常生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や事故の予防方法を紹介します。 【セーフキッズ利用者数】 25年度：11,582人▶増加
111	優良賃貸住宅供給支援事業（特定優良賃貸住宅） [建築都市局・住宅計画課]	特定優良賃貸住宅の入居対象となる方に対して家賃の補助を行うことで、ファミリー向けの良質な賃貸住宅への入居促進を図ります。 【特定優良賃貸住宅の入居率】 25年度：85.2%▶80%以上を維持
112	住宅市街地総合整備事業（拠点開発型） [建築都市局・再開発課]	交通や買物など生活利便性の高い「まちなか」において、住宅供給の促進や生活環境の改善・向上を進めることにより、年少人口の定住やコミュニティの回復および子育て支援など、都市活力の再生を図ります。
113	市有建築物のシックハウス対策 [建築都市局・建築課]	室内空気汚染については、ホルムアルデヒド等の化学物質によって健康被害の発生が考えられることから、工事完了時に室内化学物質の残量が国の示す指針値以下であることを確認するなど、誰もが安心して市有施設を利用できるように、室内空気中における化学物質の抑制を図ります。

⑤ 交通安全の推進

No.	事業名 [担当課]	事業概要
114 拡充	交通安全の推進 [市民文化スポーツ局・安全・安心都市整備課]	生涯にわたる交通安全教育および効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図ります。また、自転車利用のルール周知とマナー向上啓発のため「チャレンジ!チャリマスター（自転車ルール検定）」推進事業を実施することで、自転車による交通事故の発生を抑止します。 【交通事故死者数】 25年：22人▶減少
115	交通安全施設の整備（「文」マーク） [市民文化スポーツ局・安全・安心都市整備課]	子どもの交通事故防止対策として、通学路に「文」マーク路面表示を実施することで、運転者に通学路に対する注意を促し、児童の登下校時の安全な交通を確保します。
116	若松区内における通学支援便運行事業 [交通局・総務経営課]	若松区には、児童・生徒の自宅から学校までの通学距離が非常に長く、徒歩による通学が困難な校区があるため、通学支援を目的とした交通局の独自事業としてその校区に住む児童・生徒向けに、学校の登下校を考慮した一般乗合バスの運行を行います。